

令和6年度

美瑛町教育委員会事務の点検及び

評価に関する報告書

令和7年9月

美瑛町教育委員会

# 令和6年度 美瑛町教育委員会事務の点検及び評価

## I 教育委員会

### 1 教育委員及び社会教育委員の活動

- (1) 教育委員会管理運営事業
- (2) 社会教育総務管理事業

## II 学校教育

### 2 社会でいきる力の育成

- (1) 英語指導助手(ALT)管理事業
- (2) 教育支援員管理事業
- (3) 教育委員会事務局管理事業
- (4) 小・中学校情報教育推進事業
- (5) 小・中学校支援教育推進事業
- (6) 小・中学校通級指導推進事業
- (7) 小学生学習ルーム事業
- (8) 小・中学校図書室システム化事業

### 3 豊かな人間性と健やかな体の育成

- (1) 生徒指導連絡協議会支援事業
- (2) 町教育研究会等事業
- (3) 小・中学校総合的な学習の時間交付金
- (4) 小・中学校キャリア教育推進事業
- (5) 教育員会事務局管理事業
- (6) 食育推進事業
- (7) 不登校児童・生徒等支援事業

### 4 学びを支える家庭・地域との連携・協働

- (1) 各種審議会事業
- (2) 教育推進協議会事業
- (3) 部活動地域移行支援事業
- (4) 教職員研修事業
- (5) 学童保育管理運営事業

### 5 教育環境の充実

- (1) 学校給食管理運営事業
- (2) 小・中学校スキー授業推進事業
- (3) 通学路交通安全プログラム事業
- (4) スクールバス運行事業
- (5) 小・中学校管理運営事業

- (6) 小・中学校要保護及び準要保護児童・生徒援助事業
- (7) 小・中学校施設改修事業
- (8) 各小中学校空調設備整備事業

### Ⅲ 社会教育

#### 6 学びをいかす地域社会

- (1) はたちの集い事業
- (2) 文化社会教育団体等支援事業
- (3) 人づくり育成事業
- (4) 地域人材育成研修施設管理運営事業
- (5) 町民センター管理運営事業
- (6) 公民館事業
- (7) 分館活動事業
- (8) 出合いふれあい祭り事業
- (9) 図書館管理運営事業
- (10) 図書購入事業
- (11) ブックスタート事業
- (12) 読み聞かせグループ支援事業
- (13) 読書活動応援事業

#### 評価の表現方法

評価結果のまとめ

**A**実践が進み成果を上げている

**C**実践に努めている

**B**実践が進んでいる

**D**努力を要する

令和6年度 美瑛町教育委員会事務の点検及び評価

部局	区分	事業	事業内容・目的	実績と今後の方策等	評価
全部局	教育委員及び社会教育委員の活動	(1) 教育委員会管理運営事業	教育方針を決定する機関である教育委員会教育委員に係る運営経費。委員の意見を取り入れ、教育行政に反映させる。	教育委員会議を開催し、委員の意見を教育行政に反映させる体制を整え、地域の教育課題に対応した施策の検討や推進に貢献している。また、教育委員会議開催にあたっては、防災無線や町公式LINEでの周知に努めた。 ○会議の開催状況 8回 ○会議の公開状況 7回 (一部公開を含む) ○教育委員の研修 上川管内 2回、全道 1回 町内 1回 ○学校訪問 全7校訪問	A
		(2) 社会教育総務管理事業	社会教育委員等に係る運営経費。事業の検討や実施をするにあたり、委員の意見を取り入れ満足度の高い事業を実施する。	社会教育委員会議を開催し、町の社会教育事業に委員の意見を反映させる体制を整えた。 ○会議の開催状況 2回 ○会議の公開状況 2回 (町HPにて議事録公開) ○社会教育委員の研修 上川管内 1回	A
管理課	学校教育	(1) 英語指導助手(ALT)管理事業	各校にALTを派遣し、外国語の授業等においてネイティブな英語に触れる機会を増やし、国際的な感覚を身に付ける。	正確な発音とリスニング力を育てながら、習熟度に応じ教員と連携した授業の実践に努めた。 ○外国語指導助手 3人 ○授業の回数 小学校 397回 中学校 104回	A
		(2) 教育支援員管理事業	支援が必要な児童生徒に対し個別支援の充実を図るため、必要な学校に教育支援員を配置し、TT方式による授業を実施する。	教育支援員の配置により、支援が必要な児童生徒のサポートを行うことで、授業内容を理解し学習意欲の向上につながった。 ○教育支援員配置実績 小学校7人 中学校8人 計15人 引き続き必要な支援員を配置し、現在の教育環境の維持に努めていく。	A
		(3) 教育委員会事務局管理事業	学校図書室の活用を促進するため司書等を派遣し、読書普及率の向上を図る。	図書司書等を派遣し、学校図書室の運営や児童生徒の学習・読書活動のサポートを実施した。 ○実績 市街地校週 3回 へき地校週 1回	B
			GIGAスクールに対応した授業支援やネットワーク構築等の技術的な支援のため、ICT支援員を配置する。	ICT支援員の配置により、ネットワークの不具合への即時対応やウイルス感染リスクの低減などが実現できている。	B

令和6年度 美瑛町教育委員会事務の点検及び評価

部局	区分	事業	事業内容・目的	実績と今後の方策等	評価	
管理課	学校教育	2. 社会でいき る力の育成	(4) 小・中学校情報教育推進事業	情報化社会に対応できるよう必要となるICT機材を整備し、児童生徒が自ら学び探求する力を育成する。	ICTを活用した授業の実践に必要なソフトウェアの導入や機器の整備を行い、学習環境の充実に努めた。 ○導入しているソフトウェア ロイロノート（授業支援） Inter Class Cloud（＃） eライブラリ（デジタルドリル） ○ICT機器の更新 プロジェクター 1台 大型ディスプレイ 1台 マグネットスクリーン 1台	A
			(5) 小・中学校支援教育推進事業	支援学級に要する運営経費を計上。 支援学級に在籍する児童生徒の保護者の経済的負担軽減を図るため、特別支援教育就学奨励費を支給し、学用品等に係る経費の一部を援助する。	支援学級に在籍する児童生徒の個々の状態に合わせた教材を整備することで、一人一人の教育的ニーズに応じた学習を行うことができた。また、特別支援教育就学奨励費の支給により、学用品やスキー用具、オンライン学習通信費等の助成を行った。 ○特別支援教育就学奨励費の支給実績 小学校 57人 中学校 27人 計84人 児童生徒の特性を伸ばしていくために、必要となる支援環境の整備を引き続き行っていく。	A
			(6) 小・中学校通級指導推進事業	通級指導教室に要する運営経費を計上。 通常の学級に在籍しながらも配慮が必要な児童生徒について、実態に合わせたきめ細やかな指導を行う。	子どもの特性に応じた個別支援を行うことで、コミュニケーション能力や社会性、自己肯定感の向上につながった。 ○通級指導教室の利用人数 （年度末における登録人数） ことばの教室 36人 そだちの教室 33人 すだちの教室 34人 計103人 引き続き学習支援やスキルトレーニングを行える環境整備に努めていく。	A
			(7) 小学生学習ルーム事業	長期休業中に小学3～6年生を対象とした学習ルームを実施。学期の振り返りを行うとともに生活の乱れを予防し、学習習慣の定着を図る。	自ら学ぶことの意義や学びの楽しさが感じられる機会を提供し、学習習慣の定着と学習意欲の向上に努めた。また、新たな試みとして、連携大学の協力を得て、体験的な学習を実施することができた。 ○夏休み 参加者数 3日間述べ 143人 教科 国語・算数・外国語 ○冬休み 参加者数 3日間述べ 149人 教科 国語・算数・理科（環境）	A

令和6年度 美瑛町教育委員会事務の点検及び評価

部局	区分	事業	事業内容・目的	実績と今後の方策等	評価
管理課 学校教育	2. 社会でいき る力の育成	(8) 小・中学校図書室 システム化事業	学校図書室(市街地校)の図書資料をデータベース化するとともに図書館システムと連携させ、検索の利便性を向上させることで子どもたちの読書意欲の向上を図る。	学校図書室の蔵書管理のほか、利用実績に基づき、児童生徒のニーズに合わせた選書を行い、魅力的な学校図書室作りに繋げた。 ○貸出数 小学校 7,626冊 中学校 1,069冊	B
	3. 豊かな人間 性と健やかな体 の育成	(1) 生徒指導連絡協議 会支援事業	互いの個性を認め合い、たくましく豊かな感性を持った大人に成長するよう、その支援・指導方法等について研鑽する「生徒指導連絡協議会」に対して交付金を支給した。	上川教育局や美瑛高校と連携し、事例研修会の実施や旭川市立大学から講師を招き生徒指導に関する講演を開催するなど、各校の指導能力の向上と問題行動の未然防止に努めた。 ○研修会 4回	A
		(2) 町教育研究会等事 業	学校教育全般について個人ならびに相互研究を助長推進し、向上発展を図る「教育研究会」に対して補助金を交付した。	公開授業を実施し、授業ノウハウの共有や研究により、授業改善に資する機会とした。また、児童生徒のスポーツや文化を通じた交流など、子どもたちの心に届く学習機会とした。 ○主な事業 スポーツ交流会 芸術鑑賞会(音楽) 公開授業(6本)	A
		(3) 小・中学校総合的 な学習の時間交付金	各校において、地域性や児童生徒の実態に応じ、興味や関心、主体的で創意工夫に満ちた教育を実践する。	地域の産業や自然環境等を学ぶとともに、地域人材や各種企業と連携しながら、様々な体験学習を実施した。 ○主な実施事業 多世代交流(すずらん大学、福祉施設) 地域の魅力再確認(農家・酪農体験、登山学習) 文化活動(陶芸教室等)	A
		(4) 小・中学校キャリ ア教育推進事業	美瑛の自然や歴史、産業を学び、郷土愛の醸成と将来に向けた職業観を養う、ふるさと学習やキャリア教育を実施した。	小学校では自然探索やまちづくりを、中学校では町長等の講話や企業や専門学校等を訪問するなど発達の段階に合わせた「ふるさと学習」や「キャリア教育」を実施した。 ○ふるさと学習 小3 白金地区の自然探索 小4 防災学習、生命観授業 小5 ジオパークに関すること 小6 まちづくりに関すること ○キャリア教育 中1 地域産業に関すること 中2 まちづくりに関すること 生命観授業 宿泊研修(職業体験、専門学校見学) 中3 総括	B

令和6年度 美瑛町教育委員会事務の点検及び評価

部局	区分	事業	事業内容・目的	実績と今後の方策等	評価
管理課 学校教育	3. 豊かな人間性と健やかな体の育成	(5) 教育委員会事務局管理事業	児童生徒や保護者及び教員の様々な悩み事に対応できるよう、スクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーを派遣する。	児童生徒へのカウンセリングや、教員・保護者への助言等を行うことで、児童生徒の心の悩みや、いじめ・不登校等の問題行動の未然防止、早期発見・早期対応につながった。 ○派遣実績 スクールカウンセラー 2人 (累計: 42日・約151時間) スクールソーシャルワーカー 1人 (累計: 21日・約44時間) 中・長期的なアプローチが必要なケースが多いため、学校及び関係機関と連携し、今後も継続的な支援を行っている。	A
		(6) 食育推進事業	栄養教諭による栄養指導のほか、子ども自らが野菜等を栽培・調理するまでの一貫した学習機会を確保し、食の重要性について主体的に理解を深めることを目指す。	食育活動を通して、食に関する正しい知識と望ましい食習慣の定着に努めた。	B
		(7) 不登校児童・生徒等支援事業	不登校傾向にある児童生徒の学校復帰に向けた足がかりとなる居場所として「MysPace (マイスペース)」を月曜日～木曜日の午後1時～4時まで開設している。	児童生徒に加え、保護者や先生からの相談が多く寄せられており、不登校の未然防止や生徒指導の一助となっている。 ○MysPaceの利用実績 (延べ利用回数) 児童生徒 63件 (4人) 保護者関係 8件 先生 225件 その他 57件 合計 353件 不登校であった1人の生徒がMysPaceを利用することで、登校・進学に対する前向きな気持ちを持つようになり、高校進学につながった。	A
	4. 学びを支える家庭・地域との連携・協働	(1) 各種審議会事業	表彰審議会委員、文化財審議会委員及びコミュニティスクール審議会委員に要する費用を計上した。	○表彰審議会の開催状況 開催1回、表彰は個人2件、団体1件。 ○コミュニティスクール審議会 6つの協議会が設置され、各協議会において適宜開催されており、総会を5月に開催し、各協議会の運営状況を共有している。	B
		(2) 教育推進協議会事業	幼保小中高を通じ、連続した学びの中で生きる力を育むため活動する協議会への補助金を交付した。	小1プロブレムや中1ギャップを未然に防止するために、各校の教頭や教務主任を中心に学習指導の課題解決に向けた連携を図ることができた。 ○主な取組 ふるさと学習・キャリア教育 学校間連携 授業改善の推進 校種間連携 ・幼保小連携 ・小中高連携 (出前授業等) ・小中一貫教育 (美馬牛) 情報教育の推進	A

令和6年度 美瑛町教育委員会事務の点検及び評価

部局	区分	事業	事業内容・目的	実績と今後の方策等	評価
管理課	学校教育	4. 学びを支える家庭・地域との連携・協働	(3) 部活動地域移行支援事業 中学校部活動の段階的な地域展開を検討するため、委員会を設置し、美瑛町としてのあり方を検討する。	中学校部活動の地域展開に向けて検討委員会を設置したが、国の動向の変化や中体連出場条件、既存少年団との調整、指導者確保など課題が多く、会議開催には至らなかったが、各部活動及び地域少年団の活動実態については調査を実施し、現状把握に努めた。次年度は課題の整理と対応手法の検証を進め、町としての方向性を具体化していきたい。	C
		(4) 教職員研修事業	現代の多様な教育ニーズに対応するため、教職員一人一人の資質の向上を目的とした研修会を実施するとともに、教職員が企画する自発的な研修に対して費用面での支援を行う。	町が進める教育の浸透・推進について意識して企画しているが、今後は系統立てて研修を実施する。 ○教職員等研修会 2回開催（延べ189人参加） ○教職員研修支援 1件	A
		(5) 学童保育管理運営事業	美瑛東小学校における放課後児童の居場所づくりのため学童保育事業を実施する。	共働き等により放課後における家庭支援として、成果を挙げている。 ○開所実績 開所日数 272日 延べ利用数 7,563人 (利用登録数 約70人)	A
	5. 教育環境の充実	(1) 学校給食管理運営事業	自校給食を行うために必要となる費用（人件費、光熱水費、消耗品など）を計上し、出来立ての給食を子どもたちへ提供する。また、給食費の無償化により、経済的負担の軽減を図る。	自校給食による安全安心な給食を提供するとともに、お米や小麦、牛乳など、地元産の食材を使用することで、地産地消の取組を推進した。給食費の無償化は、子育て世帯への経済的負担軽減になっている。	A
		(2) 小・中学校スキー授業推進事業	スキー学習の充実を図るため、リフト代の助成を行うとともに、指導者の確保に向けた支援を行い、児童が安全かつ効果的に学習ができる環境整備に努めた。	リフト代を全額助成した。配慮を必要とする児童生徒に対応するため、スキー連盟や国立大雪青少年交流の家に指導者の派遣を依頼し、児童生徒が安心してスキー授業を受けることができた。 ○スキー授業の回数 小学校 24回 中学校 7回 計31回	A
		(3) 通学路交通安全プログラム事業	道道天人峡美瑛線（西町1丁目付近）に、押しボタン式歩行者用信号機を設置し、児童の登下校の安全を確保する。	旭川東警察署及び北海道（旭川建設管理部）の協議を経て、既存の横断歩道へ「押しボタン式信号機」を設置し、花園アンダーパスを使用して通学している児童（約60人）の安全確保につながった。 引き続き定期的に合同点検を実施し、危険か所の把握を行うとともに、改善が必要な場所について対応を行っていく。	A
		(4) スクールバス運行事業	児童生徒、高齢者等住民の便利で安全な交通手段としてスクールバスを運行する。	運転手の健康管理や車両の日常的な点検整備に努め、安全で快適なスクールバス運行に努めた。また、校外学習や社会教育活動などにも活用し、多面的かつ効果的な運用を実施した。	B

令和6年度 美瑛町教育委員会事務の点検及び評価

部局	区分	事業	事業内容・目的	実績と今後の方策等	評価	
管理課	学校教育	5. 教育環境の充実	(5) 小・中学校管理運営事業	各学校の運営に係る各種経費を計上し、円滑な学校運営を図る。	各学校の予算要望に基づき、必要とされる物品等の配備ができており、学校運営も円滑に行っている。	A
		(6) 小・中学校要保護及び準要保護児童・生徒援助事業	経済的理由により就学困難な家庭に対し、必要な就学援助を行う。	経済的に困窮している保護者に対して、学用品や各種活動等の一部費用を補助することにより、安心して児童生徒が通学し授業が受けられる環境の整備に努めた。 ○認定者数 小学校 要保護 1人 準要保護 22人 中学校 要保護 0人 準要保護 15人 ○援助項目 学用品費、校外活動費、体育実技用具費、新入学児童生徒学用品費、修学旅行費、医療費、クラブ活動費、生徒会費、PTA会費、卒業アルバム、オンライン通信費	A	
		(7) 小・中学校施設改修事業	各学校施設における必要な設備補修や改修を行い、学習環境の整備を進める。	施設の長寿命化や安全確保等、優先度が高いものについて実施できているが、老朽化が進行しており、対応が必要な箇所が増えている状況にある。	B	
		(8) 各小中学校空調設備整備事業	児童生徒の熱中症対策及び学習環境の改善を目的に、全小中学校の普通教室及び特別支援教室にエアコンを設置する事業。	各小中学校にエアコン設置が完了し、快適な環境となった。未設置の教室については使用頻度等を勘案した慎重な検討が必要である。	A	
文化スポーツ課	社会教育	6. 学びをいかす地域社会	(1) はたちの集い事業	はたちの集いに要する補助金。成人としての自覚の醸成とふるさとに対する想いを深める。	はたちとしての自覚を促し、地域社会とのつながりを深めるとともに、同級生との再会等により郷土愛の醸成を図ることができた。 ○実績 対象者 98名 参加者 62名	A
		(2) 文化社会教育団体等支援事業	「少年団育成連絡協議会」「婦人団体連絡協議会」「青年会議」「父母と先生の会」「青少年健全育成協議会」「少年補導員会」等に対する補助金を交付した。	地域の文化・社会教育活動の継続と発展を支援し、継続的な運営を可能にすることで、住民の学びや交流を促進し、地域の活力と連帯感の向上に寄与することができた。	A	
		(3) 人づくり育成事業	少年少女道外研修に要する経費。様々な社会体験を通じ、児童生徒の将来に向けた意識の高揚を図る。	大阪・和歌山を訪問し、異なる学校・学年の参加者が3泊4日の集団生活を通じて、自主性や責任感を育んだ。また、研修成果はびえい出会いふれあい祭りにおいて、ポスター発表とステージ発表を行っている。 ○参加者数 30人	A	

令和6年度 美瑛町教育委員会事務の点検及び評価

部局	区分	事業	事業内容・目的	実績と今後の方策等	評価		
文化スポーツ課	6. 学びをいかす地域社会	(4) 地域人材育成研修施設管理運営事業	人材育成及び交流施設として生涯学習を推進するとともに、道内外企業の研修の場として活用することで交流人口を増加させる。	宿泊型研修施設として、道内外の個人・企業に多く活用された。利用者の多くが施設のみならず、町内を散策、見学することで経済的効果や、交流人口の増加にも寄与できた。 ○利用者数 1,464人	A		
		(5) 町民センター管理運営事業	町民センターに要する維持管理経費。生涯学習の本拠地施設として町民に快適な学びの場を提供する。	地域住民の文化活動や交流の拠点としての機能を十分発揮できるよう、適切な管理を実施。多様な団体や世代が活用し、地域のつながりと文化の継承に貢献した。 ○利用者数 48,025人	A		
		(6) 公民館事業	全ての町民が生涯学習と社会教育を実践できるよう事業の推進を図る。	地域住民の生涯学習を支援し、知識や技能の習得、交流の促進を図るための事業を実施した。 ○すずらん大学 毎月1回の授業を開催。他町の高齢者大学との交流も行うなど、活発な活動を行っている。 学生 122人(内、聴講生70人) ○公民館講座 親子クッキング教室やいきがいづくり講座など、幅広い世代を対象に、住民の多様なニーズに対応した講座を開催した。	A		
		(7) 分館活動事業	各分館運営に要する交付金。地域及び分館の生涯学習事業を推進し、地区内のつながりの強化と活性化を図る。	各分館が主体となって敬老会や盆踊り、研修会など様々な行事を企画・運営し、地域の交流と活性化に大きく貢献している。	A		
		(8) 出会いふれあい祭り事業	出会いふれあい祭り開催に要する補助金。他業種、多世代の町民が交流する機会、及び生涯学習発表の場とする。	年齢や職種を問わず、住民が消防、建設業協会、社会福祉協議会など多様な職種の方々とふれ合える機会となっており、町民の交流の場として機能している。 ○来場者数 約2,200人	A		
		(9) 図書館管理運営事業	読書活動の推進、利用者のニーズにあった図書資料の充実など資料と施設を有効に活用できる図書館運営を行う。	住民一人当たり8.51冊の貸出と道内図書館の中でも上位の利用率であり、今後も利用しやすく魅力ある図書館運営に努める。学校図書館への図書館司書の巡回はできなかったが、学校派遣スタッフが司書教諭と相談しながら連携に努めた。 ○図書貸出実績 児童書 43,775冊 一般書 34,860冊 ○読書通帳の交付実績 146冊 ○イベント実績(入館者数) 5月 子どもの日スペシャル(276人) 6月 古本市(275人) 8月 夏祭り(428人) 12月 クリスマス会(505人) ○公共施設等への貸出実績 bi.yell 1回 児童館 毎月	A		
		図書館					

令和6年度 美瑛町教育委員会事務の点検及び評価

部局	区分	事業	事業内容・目的	実績と今後の方策等	評価	
図書館	社会教育	6. 学びをいかす地域社会	(10) 図書購入事業	図書及び視聴覚資料等の充実を図る。	町民のリクエストに応じた選書に努めるとともに、町民の生活に役立つ資料の充実に努めた。 ○図書購入実績 児童書 883冊 一般書 2,207冊	A
		(11) ブックスタート事業	生後6か月から11か月児の親子を対象とし、赤ちゃん絵本を通して心を通わせるきっかけを作る事業。読み聞かせボランティアの協力を得て、読んだ絵本の中から好きな絵本2冊を贈呈する。	34人に対しおはなし会あいあいによる読み聞かせ体験を行い、その中から好きな絵本を2冊ずつ贈呈した。対象者の約8割が当該事業に参加しているため、引き続き実施していく。	A	
		(12) 読み聞かせグループ支援事業	読み聞かせグループの活動を支援するため、必要な消耗品等を購入する他、ボランティア保険に加入する。	おはなし会あいあいの活動支援として活動場所の提供を行うとともに、必要とされる物品の整備を行った。今後も同団体が積極的に活動できるよう支援に努める。また、おはなし会の参加者は減少傾向にあり、今後は参加促進に向けたPR活動の強化に努めたい。 ○実績 おはなし会 22回	B	
		(13) 読書活動応援事業	中学生以下を対象とし、読書通帳(216冊)が1冊終了するごとに本を1冊贈呈し、読書習慣の定着と利用促進を図る。	小学校1～3年生の達成者(通帳終了者)が多く、図書館や本に対する興味を持つきっかけづくりとなっているため、引き続き実施していく。 ○実績 読書通帳終了者 70人	A	